

令和2年度版大野ですくすく子育て応援パッケージの施策の進捗について

～大野っ子の健やかな育ちを願って～

拡充  
新規

コロナで中止等になった事業

資料No4

番号	担当課	成長期	事業の内容	事業名	事業目的(ねらい、意図)	令和2年度実績	進捗した(しなかった)要因	令和2年度中の対応等	令和2年度決算額(千円)
①-1	健康長寿課	①妊娠期	体外受精や顕微授精の不妊治療費助成を拡充	不妊治療助成金	治療費の助成を行うことにより、少子化対策を図る。	25組38回申請あり。うち、3組懐妊。	コロナの影響を受け、治療自体を延期するよう主治医より指示されるケースがあり、申請件数は減少した。	R2.4月より助成額を拡充。(補助率1/2を撤廃、年間の申請回数上限を撤廃)	4,970
		小計							4,970
②-1	健康長寿課	②乳児期	産後1カ月健診費用5,000円を助成	出産・育児スタート応援事業	産後ケアの充実を図り、少子化対策と母子保健の充実につなげる。	産婦190名中162名助成、健診受診者185名。健診受診率95.4%。	事務の都合上、年度末受診者の結果報告書が医療機関から提出されるのが翌々月以降となるため、実際は産婦の100%近くが受診となる見込み。	R2.4月からの新規事業で年度当初に全実施機関に事業概要等説明し、協力依頼。混乱なく実施出来ている。	631
②-2	健康長寿課	②乳児期	母乳外来費用3,000円/回を3回まで助成	出産・育児スタート応援事業	産後ケアの充実を図り、少子化対策と母子保健の充実につなげる。	産婦190名中利用実人数28名、計57回の利用。	妊娠届出時、新生児訪問時、育児相談会等の機会を捉えて全対象者に周知を図っており、支援の必要な方の利用につながった。	R2.4月からの新規事業で年度当初に県助産師会等に事業概要等説明し、協力依頼。支援が必要な産婦の利用につながっている。	170
②-3	健康長寿課	②乳児期	助産師の母乳相談、母乳指導	出産・育児スタート応援事業	産後ケアの充実を図り、少子化対策と母子保健の充実につなげる。	14回実施、38人利用。	育児相談会と同時実施であり、コロナの影響で育児相談会を中止したため、回数、人数ともに当初見込みより減少した。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4～8月までは中止。9月から育児相談会が再開されたことを受け、助産師による母乳相談を再開。	140
②-4	こども支援課	②乳児期	産後5カ月まで1時間の無料券10枚プレゼント	産後ママの家事お手伝い事業	産後ケアの一環として、育児などに伴う心理的、身体的負担の軽減を図る。	R2.4～R3.3月までの出生者193人のうち、187人が利用申請済。サービス利用回数は101回。実利用人数16人	新型コロナウイルス感染予防対策のため、利用できる2事業所が、～5/20まで休所していたため、その間サービス利用ができなかったが、それ以降、一時預かりや家事援助サービスの利用が増えてきた。	・コロナで委託先事業所が休所していたため、サービス利用期限を5ヶ月 → 今年度末まで延長した。 ・事業所独自のLINEやインスタ、市広報8月号や、セグメント配信を活用し広報に努めた。	165
②-5	健康長寿課	②乳児期	新生児聴覚検査費用5,600円を助成	出産・育児スタート応援事業	育児にかかる経費の負担軽減による母子保健の充実を図る。	新生児194名中182名助成、検査実施者191名。検査実施率98.5%。難聴の早期発見につながっている。	事務の都合上、年度末実施者の医療機関からの報告書が未届。実際は母の方針により検査未実施の児1名を除き全新生児が検査を実施している。	R2.4月からの新規事業で年度当初に全実施機関に事業概要等説明し、協力依頼。混乱なく実施出来ている。	705
②-6	図書館	②乳児期	ブックスタート(絵本の読み聞かせ、絵本・バックのプレゼント)	子どもの読書活動推進事業	乳幼児期に親子で絵本を楽しみ、親子の関わり合いを深める。	対象者255人のうち103人が参加	例年5月と10月(計16日間実施)にしていたが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、10月(9日間実施)のみの実施となった。そのため、既に乳幼児がこども園に入園しているなどの事情により参加しづらい状況もあった。	・コロナの影響により絵本の読み聞かせをせずにプレゼントのみでも可能とした。 ・保護者のみの参加を可能とした。 ・市広報10月号に掲載し広報した。	393

番号	担当課	成長期	事業の内容	事業名	事業目的(ねらい、意図)	令和2年度実績	進捗した(しなかった)要因	令和2年度中の対応等	令和2年度決算額(千円)
②-7	市民生活・統計課	②乳児期	チャイルドシート購入費の1/2を助成	チャイルドシート購入費補助	子どもたちの自動車乗車時の安全を確保するとともに、子育て世代の経済的負担の軽減を図る	申請は98件、補助金額は878,900円であった。	8月以降について、申請数が増加したため、窓口の案内等で制度の周知が進んでいると思われる。	申請者が間違えやすい部分について、チラシの内容を補足するなど、わかりやすくなるよう努めた。	879
②-8	政策推進課 秘書広報室	②乳児期	知りたい情報を発信 (LINE公式アカウントを開設)	広報広聴事業	子育てに関する情報を配信し、子育て世帯をアシストする。	登録者3,3673,819人(43/31現在)のうち、約60%が20～44歳の男女。	国民の6割以上が使用するSNSとして親和性が高いことが最大の要因と考えられる。	「友だち(大野市のLINEを登録したユーザー)」の性別や年代に合わせて配信情報を分別するセグメント配信を導入した。メニュー画面に「子育てナビ」へのリンクを設定した。R3.1月から子育て支援センターの「オンライン子育て相談」の予約をLINEで受け付けている。	968
		小計							4,051
③-1	こども支援課	③幼児期	子ども医療費の窓口無料化・対象者の拡大	子ども医療費助成事業	子どもに係る医療費の一部を助成することにより、適正な医療を給付し、子どもの保健の向上に寄与する。	令和2年10月からの拡大対象者のうち高校1～3年生相当の申請率は94%(申請者681人/案内先728人)。19～20歳の申請率は16%(申請者89人/案内先549人)	市内に住民登録がある高校1年生～大学2年生相当の子ども全てに申請案内を行った。	紙申請だけでなく、電子申請の受付も行った。	74,001
③-2	健康長寿課	③幼児期	インフルエンザ予防接種費用1,000円/回を助成	子どもインフルエンザ予防接種助成金	子どものインフルエンザ予防接種にかかる費用の一部を助成し、費用の負担軽減を行うことで接種率を高め、感染拡大および重症化予防を図る	対象:(A)1歳～小6 2,474人、(B)中学生830人(R2.4時点) A:2回接種 B:1回接種 接種回数:3,001回	助成している他市の接種率とほぼ変わらず、当初見込みどおりの接種状況であった。	予定どおり実施できた。	3,001
③-3	健康長寿課	③幼児期	3歳児健診時フッ素塗布と乳幼児期の歯みがき指導	しあわせ子育て応援事業	大野市は幼児の虫歯保有率が県内でも高いことから歯のフッ素塗布と歯磨き指導を行い虫歯予防を図る。	3歳児健診の対象者208名のうち、193名にフッ素塗布を行った。(92.8%)	フッ素塗布を行わなかった児は、既に歯科医院にかかっておりフッ素塗布を実施しているケースがほとんどである。	歯科衛生士による歯磨き指導を予定していたが感染予防で密を避け最小限の職員で健診を実施するため、保健師が歯磨き指導を実施。(歯科衛生士による歯磨き指導は中止)	215
③-4	こども支援課	③幼児期	在宅での子育て応援(第2子以降1万円/月支給)	家庭育児応援手当支給事業	子どもが健やかに育つ環境整備のため、低年齢児を家庭で育てる世帯への経済的支援を行う。(所得制限なし)	9月に全対象者113人へ制度周知・申請書の送付を実施。1月末までに41名の申請・認定済。2/10に第1回目の支給実施。	対象者へは、複数回周知案内を送付するなどし、新規事業のPRに努めた。手当受給該当者の申請受付が円滑に行えた。	出生届出時や予防接種案内時等に制度の周知及び申請案内を随時実施。	1,550
③-5	こども支援課	③幼児期	第3子以降保育料免除	保育所管理運営経費・民間保育所等運営費	子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもが健やかに育つ環境づくりを進める。	通年で実施。国基準では保育料が掛かる児童411人中129人の保育料を免除した。	世帯の状況に基づき適切に実施した。	世帯の状況に基づき適切に実施した。	19,893
③-6	こども支援課	③幼児期	第2子保育料免除(所得制限なし)	保育所管理運営経費・民間保育所等運営費	子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもが健やかに育つ環境づくりを進める。	令和2年9月から実施。国基準では保育料が掛かる児童411人中172人の保育料を免除した。	世帯の状況に基づき適切に実施した。	世帯の状況に基づき適切に実施した。	20,586

番号	担当課	成長期	事業の内容	事業名	事業目的(ねらい、意図)	令和2年度実績	進捗した(しなかった)要因	令和2年度中の対応等	令和2年度 決算額 (千円)
③-7	こども支援課	③幼児期	第3子以降の副食費(おかず代)の免除	保育所管理運営経費・民間保育所等運営費	子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもが健やかに育つ環境づくりを進める。	通年で実施。国基準では副食費がかかる427人中108人の副食費を免除した。	世帯の状況に基づき適切に実施した。	世帯の状況に基づき適切に実施した。	5,540
③-8	こども支援課	③幼児期	障害のある子もない子も一緒に安心保育	障害児保育事業	障害を持つ児童に対し、保育所や認定こども園で健常児とともに集団教育、保育を実施する。	保育所、認定こども園14園の全園で障害児の受入を実施。	障害児、加配職員の状況に応じ、適切に実施した。	例年どおり適切に実施した。	12,000
③-9	こども支援課	③幼児期	保育所などの保護者会活動を支援	地域組織活動育成事業補助	児童健全育成を目的に保護者と地域住民による活動を支援する	16団体(保育所3園、認定こども園8園、児童館4館、地域組織団体1団)	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により各団体の活動が制限されることとなり、活動経費の減少となった	従来の交流活動から新しい生活様式にあった活動内容の見直しを図りながら、本事業への取り組みを模索した。	1,095
									137,881
④-1	教育総務課	④学童期	第3子以降の小中学校の給食費を無料化	3人っ子給食費助成事業	保護者の経済的な負担の軽減を図り、子育てを支援する。	交付申請283件のうち、265件に対して交付決定(小学校201件、中学校64件)	市内小中学校、奥越特別支援学校、福井工業大学付属福井中学校の全ての保護者にチラシを配布したほか、市ホームページでも周知を行った。	年度当初の申請だけではなく、年度途中での申請も随時受付を行った。	12,453
④-2	図書館	④学童期	図書館で夏休みの宿題支援(小学生対象)	読書推進事業	夏休み期間中、小学生を対象に図書館を利用した宿題支援や図書館の仕事体験を実施する。	1年生から6年生までを対象に実施した。4日間開催で計50人が参加	当初各学年2日間の日程で計画していたが、コロナの影響により夏休み期間が短縮されたため、規模縮小し実施した。	・工作を取りやめ、任意で読書感想文を取り組むにより各学年1日の日程で行った。 ・元教員の指導による宿題支援を行った。 ・各小学校へのチラシを配布し広報した。	115
④-3	教育総務課	④学童期	公民館で夏休みに子どもチャレンジ教室を開催(小学生対象)	教育指導事務経費	夏季休業中の児童の居場所づくり及び他校児童との交流機会を創出する。	中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小学校が臨時休業となったことで、夏季休業が短縮されたため。	小学校の夏季休業期間短縮に伴い、夏休み子どもチャレンジ教室の中止を決定した。	0
④-4	地域文化課	④学童期	公民館で快適に宿題(中学生対象)	公民館管理運営経費	大野っ子の健やかな育ちを応援し、夏休みの中学生の居場所づくりを行う	8月6日～18日まで8日間で延べ55人が利用した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、夏休み期間が短く、参加者が少なかった。	当初、開放する会議室を1室としていたが、密を避けるため、可能な限り開放した。	13
④-5	スポーツ推進課	④学童期	海洋センターでBG塾を開催(小学生対象)	海洋センター活用促進事業	長期休暇中の子どもの居場所を提供	延べ58人参加(1回4日間)	新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもの夏季休暇が短縮された。	実施回数を予定していた2回から1回にした。	71
④-6	スポーツ推進課	④学童期	全国大会などの出場経費の助成	全国大会等出場費補助	全国で活躍する子どもを応援する	申請10件	新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの全国大会が実施されなかった。	-	309

番号	担当課	成長期	事業の内容	事業名	事業目的(ねらい、意図)	令和2年度実績	進捗した(しなかった)要因	令和2年度中の対応等	令和2年度決算額(千円)
④-6-1	教育総務課	④学童期	小中学校全国大会出場経費の助成	全国大会等出場費補助	市内児童生徒のスポーツ競技力の向上及び文化活動の推進	運営補助と指導者補助について補助金を交付済み。	新型コロナウイルス感染症の影響で、市の補助を受けて開催するスポーツ少年大会が中止となった。	スポーツ少年大会以外の補助事業は進捗している。	593
④-6-2	地域文化課	④学童期	文化活動にかかる全国大会出場経費の助成	全国大会等出場費補助	文化活動の推進を図るため全国大会等に出場又は参加する団体、個人に対し経費の一部を補助する。	申請2件	-	-	170
④-7	スポーツ推進課	④学童期	スポーツ少年団の育成支援	スポーツ少年団育成事業補助	スポーツをする子どもを応援する	夏季は、7月1日から8月26日まで実施。冬季は、12月20日～2月28日まで実施中。1月末現在、1,059名の利用者のうち、幼児から高校生までの利用が136名。	-	-	593
④-8	スポーツ推進課	④学童期	中学生ジュニアクラブ活動支援	ジュニアクラブ活動育成促進補助	スポーツをする子どもを応援する	申請2件	-	-	170
④-9	こども支援課	④学童期	放課後の居場所づくり(放課後児童クラブ)	放課後児童クラブ事業	保護者が就労や病気等のため、放課後に家にいない小学生に遊びを主とする発達助長等を行い、児童の健全な育成を図る。	・利用料無料(長期休暇及び土曜日の利用を除く)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自由来館として利用できる学年を曜日ごとに指定し密集を避け、放課後児童クラブの利用児童の安全な居場所の確保について考慮した。	引き続き、安全な放課後の居場所の確保について考慮し、児童の健全な育成を図る。	12,160
④-10	生涯学習・文化財保護課	④学童期	放課後の居場所づくり(放課後子ども教室)※利用者増に対応	放課後子ども教室事業	放課後における子どもの安全な居場所を確保し、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組の充実を行う。	4～3月の間に、延べ24,906人の児童が参加。富田公民館と乾側公民館の修繕を完了した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校の休校が続いた。このため、放課後子ども教室の開催日や参加者が減少した。	富田公民館と乾側公民館の修繕を終了し、利用者増に対応済み。上庄放課後子ども教室については、上庄幼稚園を利用し、利用者増への対応を行った。	16,875
		小計							43,522
③-10	建設整備課	⑤遊び場	奥越ふれあい公園の木製遊具をリニューアル	【県事業】	既設木製遊具のリニューアル	既設遊具撤去済	-	工事着手中	-
③-11	産業政策課	⑤遊び場	道の駅「越前おおの 荒島の郷」キッズコーナーオープン予定 ※令和3年度早期	「まるごと道の駅」拠点整備事業	道の駅を利用する市民及び観光客に、子どもたちの遊びの場として提供する。	令和3年4月22日のオープンに向け整備した。	当初の予定通り順調に工事が進んだ。	-	-
③-12	スポーツ推進課	⑤遊び場	エキサイト広場アリーナなどの無料開放	エキサイト広場総合体育施設等管理運営経費	長期休暇中の子どもに遊び場を提供する	夏季は、7月1日から8月26日まで実施。冬季は、12月20日～2月28日まで実施中。1月末現在、1,059名の利用者のうち、幼児から高校生までの利用が136名。	-	-	-

番号	担当課	成長期	事業の内容	事業名	事業目的(ねらい、意図)	令和2年度実績	進捗した(しなかった)要因	令和2年度中の対応等	令和2年度 決算額 (千円)
③-13	産業政策課	⑤遊び場	親子で行きたくなる商店街取り組みなどを支援	商店街等集客力向上支援事業	県内外からの観光客及び地域住民の消費拡大を図るための事業を支援し、子育て世代が楽しめるまちづくりを促進する。	令和元年度策定の計画にのっとり、情報発信拠点の整備及び情報発信事業を実施した。	令和元年度策定の計画にのっとり、親子等をターゲットとした来客増加のための事業を3年間実施しており、2年目の事業を実施した。	・施設の実情、地域の需要をくみ取り、観光情報コーナー及びウォーキングコースの設置事業⇒情報発信拠点の整備及び情報発信事業に計画を変更 ・補助事業者、受注者と協議を重ねながら事業が効果的なものになるように取り組んだ。	500
		小計							500
⑤-1	地域文化課	⑥若者・保護者	集会所などを利用して世代間交流事業を行う自治会などに補助	世代間結づくり事業	集会施設等を活用して実施する地域での子育て、見守りを念頭に置いた世代間交流事業に対して財政支援を行う事により、地域での子育てを応援する。	申請は無かった。	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、各自治会において、住民が集まる事業を自粛したため。	随時申請を受け付けた。	0
⑤-2	防災防犯課	⑥若者・保護者	若者・親子の防災キャンプ体験	防災対策経費	アウトドア体験を通じて災害発生時の避難所の生活を体験し、防災意識の高揚や若者世代の防災力の向上を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止した。	新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止した。	新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止した	0
⑤-3	防災防犯課	⑥若者・保護者	防犯カメラ設置費用を助成	安全安心まちづくり推進事業	犯罪を抑止するため、防犯カメラ設置費用を助成し、普及を図る。	1自治会に助成を行い、防犯カメラを2台設置した。	地域の要望により設置する。	地域の要望により設置する。	99
⑤-4	観光交流課	⑥若者・保護者	平成大野屋 平蔵にも防犯カメラを設置	越前おおの結ステーション管理運営経費	施設利用者(子ども含む)の防犯対策上実施する。	整備済(防犯カメラ8台等設置)	計画どおり実施済。	計画どおり実施済。	469
⑤-5	産業政策課	⑥若者・保護者	・若者のビジネススキルの向上(職場を超えた研修会の開催) ・若者同士交流会の開催	若手社員育成研修会開催事業	市内事業所に勤務する若手社員のビジネススキルの向上や、若手社員同士の繋がりの情勢により、職場の定着率を向上させ、若年層の市外流出を抑制する。	研修会及び交流会の実施を予定していたが、未実施となった。	当初7月開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大が収束せず未実施となった。	当初7月開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大が収束せず未実施となった。	0
⑤-6	産業政策課	⑥若者・保護者	働く人にやさしい企業を支援(子育て世帯にやさしい企業の認定、表彰)	働く人にやさしい企業応援事業	子育て支援に取り組む市内企業を認定し、子育て世代にとって魅力あるまちづくりを推進する。	10社認定を目標としていたが、13社から申請があり、10月に13社認定した。	企業募集の際に、市ホームページや広報おおの、CCI(大野商工会議所発行)、新聞に掲載され、広く周知された。	・7月に業内容の周知及び企業の募集案内を行った。市ホームページ、広報おおの7月号、CCI(大野商工会議所発行)に事業内容を掲載した。 ・10月に認定後、市HPに掲載、広報おおの12月号に掲載し、認定企業の周知を行った。	360

番号	担当課	成長期	事業の内容	事業名	事業目的(ねらい、意図)	令和2年度実績	進捗した(しなかった)要因	令和2年度中の対応等	令和2年度 決算額 (千円)
⑤-7	産業政策課	⑥若者・保護者	働く人にやさしい企業を支援 (子育てサポート企業として国や県の認定を受ける企業を支援)	働く人にやさしい企業応援事業	市内事業所が、国や県の働き方改革に取り組む企業に対する各種認定の申請や業務の効率化や拡大を図るために行う補助金申請業務などを商工会議所を通じて支援し、市内での働きやすい職場環境づくりを推進する。	商工会議所を通じ、会員企業約1,000社を対象に、業務の効率化、拡大などを目的とした国や県が行う補助制度申請や計画の認定申請の支援を行ったことで、補助の採択や計画認定に繋がり、残業時間の軽減や安定した雇用環境の整備など、子育てと仕事を両立しやすい職場環境づくりが促進できた。 国: 補助制度採択企業 18社 計画認定企業 3社 県: 補助制度採択企業 3社	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染症対策として業務の効率化や拡大を行うための補助制度への関心が高くなり、申請・採択件数が多くなった一方で、子育てや女性活躍の目的に特化された国の認定制度「くるみん」や「えるぼし」、県の認定制度「ふくい女性活躍推進企業」や「父親子育て応援企業」への申請は1件もなかった。	商工会議所と申請状況についての情報交換を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行う事業所の補助金申請業務を中心に支援を行った。	1,000
⑤-8	産業政策課	⑥若者・保護者	働く人にやさしい企業を支援 (男性従業員の育児のための休暇取得などに取り組む企業を支援)	働く人にやさしい企業応援事業	労働者が安心して子供を産み育て、職場環境の創出と失業者の就業機会の拡大を図る。	・働く人にやさしい企業の認定について、令和元年度認定事業所7社に対し、1年間の取り組みに応じて審査を行い、11月に表彰式を行った。(最優秀賞1件、優秀賞2件、優良賞4件) ・育児休業等の代替要員雇用に対する補助については、1事業所3名に対し補助金を交付。男性従業員の育児休暇取得に対する補助については、2事業所2名に補助金を交付した。	・働く人にやさしい企業の認定について、各企業の取組内容の特徴をまとめ、審査を行った。 ・育児休業等の代替要員雇用及び男性従業員の育児休暇取得について、事業所が事前に提出した計画書のとおり、従業員に対し育児休暇を取得、職場復帰させたことにより、計画通り補助金を交付した。	・働く人にやさしい企業について、11月に表彰後、市HPに掲載、広報おのの1月号に掲載し、認定企業の周知を行った。 ・育児休業等の代替要員雇用及び男性従業員の育児休暇取得について、新規の企業に対し説明した。	3,962
⑤-9	産業政策課	⑥若者・保護者	起業・創業を後押し (チャレンジする事業者を支援) (女性の創業を支援)	起業家・経営者応援事業	女性経営者の活力を引き出し地域の新しい需要を創出することにより、にぎわいと活力ある市街地の形成及び地域経済の活性化を図る。	店舗形成事業補助金により、女性経営者1件の店舗改修経費を補助した。	新型コロナの影響により創業に向けた機運は上昇しづらい状況だったが、店舗形成事業補助金の交付を行った2件のうち、1件が女性経営者に対するものとなった。創業を希望する女性経営者に寄り添って支援ができた。	・補助事業活用希望者の相談を受けた際は、大野商工会議所に情報共有した。 ・大野商工会議所開催の空地空家対策特別委員会に出席し、事業をブラッシュアップした。	1,000
⑤-10	総務課	⑥若者・保護者	大野っ子ママもパパも一緒に子育て講座開催	男女共同参画プラン推進事業	家事を家族皆で分担することにより、子育てに対しても皆が関わりやすい家庭づくりを目指す。	2月14日(日)に開催し、定員18名のところ親子6組15名が参加した。	県内及び市内の新型コロナウイルス感染者の発生状況を確認し、感染症拡大対策を施した上で開催した。公民館、保育園、児童センター等にチラシ、ポスターを配布し周知した。	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策に努めながら令和3年2月14日(日)に開催	169
⑤-10-1	こども支援課	⑥若者・保護者	子育て支援センターで「お父さんと遊ぼう」の開催	地域子育て支援センター管理運営経費	パパの参加しやすい講座を開催し子どもとの関わり方を支援する。	土曜日開設日を利用して、11月21日(土)に講座を開催した。市の男性保育士を講師に開催。8組の父と子の参加があった。	感染防止対策を図りながら実施。子どもが喜ぶような音楽にあわせたスキンシップの取り方を実践したり、絵本の読み聞かせを行ったりした。	感染拡大に留意しながら、実施できるよう検討した。	-
		小計							7,059
⑦-1	健康長寿課	⑦子育て応援機関	休日急患診療所の小児救急診療	休日急患診療所診療事業	休日において緊急に医療を必要とする市民に対して応急的な診療を行う。	小児科受診者数 745人	コロナウイルス感染症により、受診者数が減少した。	発熱外来を設け、感染対策に努め診療に当たった。	87,600

